

## 安芸地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)

## 安芸地域アクションプランの進捗状況等について(第3四半期)

H 25. 2. 19

安芸地域本部

### 1 地域アクションプランの実施状況 (総括)

#### (1) 総評

全項目(28項目)について、実行支援チームを編成し、支援及び進捗管理を実施した。

第1次産業分野では、ユズに関しては10月に開催されたフランス見本市への出展、それに続く本格的な輸出へと動きだしている。

木質ペレットの生産については、設備の大幅な改善を実施したことにより目標としている生産量の目途が立ちつつあるが、引き続きペレットの品質の安定化に向けた製造プラントの調整などを行っているところである。なお、ペレットボイラーの普及が進んだことから、今後の需要を満たす供給体制の構築やボイラーを活用することによる商品の差別化などが課題となってきた。

また、民間事業者による安芸市でのシラスの加工施設の整備が、来年2月の操業開始を目指して順調に進んでおり、併せて商人塾の受講を通じて商品開発などの検討に取り組んでいる。

商工業分野では、安田町の「安田(あんた)と夢ファクトリー『キララ』」で生産されているマンゴー大福が、「てんこす」での販売や、「まるごと高知」でのテストマーケティングを実施し、県内量販店で販売されはじめたが、大口の販路先の確保までは至っていない。四国部品中芸工場が生産している酒粕を活用した商品も小口の販路はあるものの大きな取引までには至っておらず、引き続き販路の拡大に向けた支援が必要である。

それ以外の地域内で生産される商品に関しても、販路先の開拓や新商品の開発が課題となっており、引き続き事業者と連携しながら支援を行っていく。

また、東洋町の「海の駅」については、来夏のオープンを目指して、1月の県産業振興推進補助金の審査会に向けて準備を進めているところである。

その他にも、田野駅屋の機能拡張、芸西村のかっぱ市に併設する地場産品加工場の整備、キラメッセ室戸の楽市の機能強化などの動きが出てきており、地域本部としても積極的に支援をしながら、それらの具体化を進めていく。

観光分野では、安芸広域観光の飛躍を目指して、新たに平成27年度に地域主体の博覧会を開催することが安芸地域9市町村で合意形成され、現在、博覧会の具体的な内容やその実施体制について協議が進められており、平成25年度から本格的な準備がスタートする予定である。

こうした広域観光に対する地域の盛り上がりを着実な成果に結び付けていくためにも、地域本部としても観光振興部と連携した中で、広域観光を支えるベースとなる観光人材の育成や、室戸ジオパークや魚梁瀬森林鉄道遺産など、地域の観光資源の磨きあげなどの取り組みを引き続き支援していく。

(2) 具体的な動き

①地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p><b>二つの日本一を有する産地機能の維持・強化</b></p> <p>■No. 1 ナス産地におけるまとまりづくりとブランド化の推進（室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、芸西村）</p> <p>・ J A土佐あき</p> <p>■No. 2 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>・ JA 土佐あき ・ J A馬路村</p>	<p>[取組状況] （系統率の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域園芸戦略推進会議の開催(6/11、8/6、11/16、12/21) 生産者大会開催、園芸連・行政への要望など新たな推進活動を合意</li> <li>・ 各地区反省会、現地検討会の開催（7ヶ所 132 農家参加）</li> <li>・ 安芸及び赤野集出荷場での営農相談の実施（8回 433 農家） （土佐鷹の推進）</li> <li>・ 土佐鷹普及推進協議会の開催（5/22、8/6、12/19）</li> <li>・ JA・園芸連・県で農家を個別に巡回（5～6月） （目標 29.2ha に対して 26.8ha と前年度比 92%となっている。）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土佐鷹の更なる推進（特に安芸集出荷場管内のまとまりの形成） ⇒地域園芸戦略会議等を通じた系統率の向上</li> </ul> <p>[取組状況] （新植改植の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カラーリング出荷勉強会（4～12月：31回）</li> <li>・ 適期防除指導（4～6月：14回） （将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり）</li> <li>・ 課題の共有化を図るための連絡会の開催</li> <li>・ 検討会立上げに向けた調整 （ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓）</li> <li>・ 県版 HACCP 導入への検討</li> <li>・ 青果輸出（5月園地登録申請、10月フランス見本市、11月本格輸出）</li> <li>・ 濾過、殺菌、充填装置導入（現在整備中）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユズ果汁の販売強化、青玉出荷率の向上、ユズ商品の販売拡大 ⇒取り組みの着実な継続</li> </ul>
<p><b>木質バイオマス活用の促進</b></p> <p>■No. 8 木質バイオマス活用の促進(安芸市、芸西村)</p> <p>・ J A土佐あき ・ (有)安岡重機 ・ 高知バイオマスファーム ・ 高知東部森林組合</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペレット原料（原木）のストックヤードの再整備</li> <li>・ ペレット製造ラインの二次破砕機の交換を実施 ※現在 800～900 トンの生産が可能な状況となった</li> <li>・ ペレット原料（原木）の安定調達に向けた協議を実施</li> <li>・ 木質ペレットの需給見込み調査を実施</li> <li>・ 改良後の試運転と製造ペレットの燃焼試験を実施</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需給見込みを基にした木質バイオマスボイラーの新規導入 ⇒補助事業導入に向けた事業計画づくり</li> <li>・ 需要に対応するペレット量の確保 ⇒設備の増強等による生産の能力の向上など</li> </ul>

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p><b>水産物のブランド化への取組</b></p> <p>■No. 10 キンメダイのブランド化に向けた取組（室戸市、東洋町、奈半利町）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸東水産業改良普及協議会</li> </ul> <p>■No. 11 水産加工の促進と販路の拡大（室戸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)タカシン水産</li> <li>・高知県漁協</li> </ul> <p>■No. 12 加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上（安芸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業</li> <li>・安芸漁協</li> <li>・安芸おじゃ娘</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の協議（県水産物ブランド化補助金申請 4/25、交付決定 5/31）</li> <li>・県内外の量販店に対するPR活動を実施（4/28～29）</li> <li>・冷凍フィレの地元での利用促進に関する協議（5/8）</li> <li>・「ぐるなび」を利用した販促活動の実施（6～9月）</li> <li>※現在1社と取引交渉中</li> <li>・TV番組「旅サラダ」でのPR（7/14）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド化、販路拡大、規格別にターゲットを絞った販促活動の展開 ⇒県外で実施される高知フェアを中心にPR活動を継続</li> <li>・冷凍加工品の開発と地元消費の拡大 ⇒ぐるなびで飲食店を対象としたPR活動等の継続</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農商工連携事業について検討、計画が認定されたことにより、商品のパッケージや企画開発に着手</li> <li>・スチームコンベンションの導入</li> <li>・県内外量販店に対する営業活動を実施</li> <li>・塩麴を使った新商品を開発、小売向け商品の開発</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大口で安定的な取引先の確保 ⇒既存商品の改善、新商品の開発への取組と営業活動の継続</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなシラス加工施設の整備に向けた協議（産振補助金6月採択）</li> <li>・建設用地となる土地の造成を開始（11月完成）</li> <li>・占用許可手続（12/5許可）</li> <li>・製造機械の発注（9/27契約）</li> <li>・建築の発注（12/5契約）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工原魚の確保に向けた取組 ⇒連携事業者である安芸西部機船船網連合会との協議</li> <li>・商品力、販売力の強化と新たな販路確立 ⇒土佐まるごとアカデミーでの検討と首都圏でのPR活動</li> </ul>
<p><b>地域の1次産品等を活用した商品づくりと販路拡大</b></p> <p>■No. 3 ポンカンを活用した新商品の開発と販路の拡大（東洋町）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲浦の果樹仲間</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売戦略の策定を行った（6月）</li> <li>・大阪方面での営業活動に向けたチラシを作成し、業務用酒販卸業者への営業活動実施（7/5～6、11/5～6）</li> <li>・海洋深層水企業との連携による試作品づくりに着手</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売戦略に基づいた販路開拓 ⇒ターゲットに対する営業活動の促進</li> </ul>

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No.4 「安田（あんだ）の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発（安田町）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安田町</li> <li>・生産者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発と生産体制の構築 ⇒新商品の検討</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安田（あんだ）と夢ファクトリー『キララ』がオープン（6/3）し、店頭販売は概ね順調に推移</li> <li>・新たな商品開発に着手（柚子みそやトマトで試作）</li> <li>・まるごと高知でのテストマーケティングを実施中（9～12月）</li> <li>・店頭販売のほか、てんこすや県内量販店で販売しているが、大口の取引までには至っていない</li> <li>・産業振興センターアドバイザーと販売に関する協議を実施（12/27）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入した製造機械での本格生産に向けた大口の販路開拓 ⇒地産外商公社等と連携した首都圏での商談の実施</li> <li>・原材料の安定確保に向けた仕組みづくり ⇒安芸地域全体を視野に入れた原材料の選定と調達方法の検討</li> </ul>
<p>■No.5 エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大（芸西村）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2 香南くろしお園</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お花ソルト」を開発、試験販売を実施し、現在15店舗で販売中</li> <li>・新たな商品「お花オイル」を開発し、10月より試験販売中</li> <li>・大手百貨店から県外の食品卸業者を通じて商品開発の打診あり →カタログ販売で1社、ギフト販売で1社と成約</li> <li>・かっぱ市でギフト商品として販売中（12月～）</li> <li>・総合園芸会社のPB商品として販売開始（11月～）</li> <li>・新たな加工品として、乾燥野菜を試作中</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お花ソルト」「お花オイル」の認知度アップ ⇒県内商談会への積極的な参加</li> <li>・新たな加工品の開発</li> </ul>
<p>■No.6 白下糖の生産の拡大と新商品の開発（芸西村）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸西村</li> <li>・芸西村製糖組合</li> <li>・生産者グループ</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産拡大のため検討会を実施（製糖組合、芸西村、県）</li> <li>・生産者に対するアンケート調査の実施（8～9月）</li> <li>・生産者は3名増、製糖の後継者は新たに3名が従事</li> <li>・本年度は5反程度作付け、収穫量は対前年比30%強の30tの見込み</li> <li>・白下糖の販売について検討～ブランド化～ ※1反あたり取れる砂糖 500kg 販売価格 100万円</li> <li>・労力軽減のために脱葉機の導入を検討中（12/5 香川県に視察）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の増加対策 ⇒生産者等への働きかけ</li> <li>・新商品の開発に向けた検討 ⇒かっぱ市との連携による新たな加工品の検討</li> </ul>

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 14 酒粕等を活用した新商品の開発と販路の拡大（田野町、安田町）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四国部品(株)中芸工場</li> <li>・ダイイチダルマ食品(株)</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の試作開発中</li> <li>・酒の実ヴィネグレットソースの商標登録（準備中）</li> <li>・大阪うまいもん市等への出展</li> <li>・県内外への販路先確保に向けて営業活動を行い、県内量販店2社と成約（販売中）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採算ベースを確保するための売上増加やコスト低減対策 ⇒県内量販店等の取引先の確保に向けた営業活動</li> <li>・ダイイチダルマ食品が12/28付けで事業廃止 ⇒中芸地区商工会と連携して、事業継承者の確保</li> </ul>
<p>広域的に連携した観光の推進</p> <p>■No. 18 安芸地域における広域観光の振興（安芸地域全域）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸広域市町村圏事務組合</li> <li>・市町村</li> <li>・観光協会等</li> </ul> <p>■No. 19 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興（室戸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸市</li> <li>・室戸ジオパーク推進協議会</li> <li>・室戸市観光協会</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験メニューの更なる掘り起こしを協議（安芸広域観光担当課長会）</li> <li>・教育旅行の商品づくりを協議（高知東海岸体験観光協議会）</li> <li>・安芸広域エリアキャンペーンの展開（6/1～11/30）</li> <li>・県の観光アドバイザーによる研修会の実施（6/5）</li> <li>・ごめん・なはり線シンポジウムの開催（7/1）</li> <li>・安芸地域での博覧会の開催（H27）について合意（9～10月）</li> <li>・県に対して支援要請（人的・財政的）（10月）</li> <li>・愛媛県南予いやし博視察（11月）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略的な旅行商品の造成、体験メニューの充実 ⇒安芸広域全体での体験メニューの更なる掘り起こしと磨きあげ</li> <li>・地域博覧会の開催に向けた準備等 ⇒推進体制の構築と具体的な内容の検討</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <p>（ガイド養成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオサイト別ガイドマニュアルの検討（通年）</li> <li>・養成講座の開催（9～11月 受講23名、H23末ガイド登録43名）</li> </ul> <p>（ジオツアー・商品開発）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周遊バス（スペシャルジオツアー）の実施（9～11月 参加115名）</li> <li>・こどもサマースクールの開催（7月、参加31名）</li> </ul> <p>（全国大会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本ジオパーク室戸大会実行委員会を設置（6月～）</li> <li>・日本ジオパーク室戸大会の開催（11月 参加約500名）</li> </ul> <p>（拠点整備等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸ジオパーク拠点施設検討委員会での検討 （9回、H23, 11/28、12/20、H24, 2/9、3/14、6/21、8/3、9/20、11/30、12/25）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオパークに関する更なる情報発信の強化 ⇒世界ネットワーク構築に向けた仕掛け</li> </ul>

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 21 岩崎弥太郎と地域食材を活用した観光の振興（安芸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸市</li> <li>・生産団体・グループ</li> <li>・民間事業者・加工業者</li> <li>・安芸市観光協会</li> <li>・「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会</li> <li>・安芸「釜あげちりめん井」楽会</li> <li>・安芸市観光ボランティアガイドの会</li> <li>・JA土佐あき婦人部</li> <li>・入河内大根のこそう会</li> </ul> <p>■No. 25 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県東部の観光拠点とするための整備 ⇒検討委員会を設置しH23, 11 から整備場所、内容、構造等を協議 場 所：旧東中学校、 整備内容：ジオパークミュージアム、民族芸能資料展示、体験・学習スペース、物販、総合案内</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <p>（安芸ちりめん井のPR）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご当地グルメ屋台村（4/1）</li> <li>・宇佐大鍋まつり（5/3）</li> <li>・PR キャラバンへ参加 （6月福岡・広島・神戸・大阪・京都、7月高松・岡山・松山、11月福岡・広島・岡山）</li> <li>・「てんこす」での安芸フェア（7～8月）</li> <li>・ちりめん井のPR ソング（3曲）の作成（7月）</li> <li>・高知東海岸グルメまつりでのPR（10/13～14）</li> <li>・四国B級グルメ、ジオパーク全国大会への出展（11月）</li> <li>・ものづくり総合技術展でのPR（11/29～12/1）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸市の観光振興に向けた推進母体の育成 ⇒安芸市観光協会の機能の見直し</li> <li>・地域食材を活用した新たな「ちりめん井」や加工品の開発 ⇒オンリーワンの「ちりめん井」の創作</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <p>（開通100周年記念事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催内容を検討（4月～）</li> <li>・隧道カフェの開催（4月～）</li> <li>・林鉄ツアーの実施（4月～）</li> <li>・全国せまい線路サミット in 高知の開催（11月 参加者120名） （保存・啓発活動）</li> <li>・支線調査の実施（9月～）</li> <li>・林鉄出前授業の実施（5月～中芸5町村の小学校で実施）</li> <li>・林鉄公開セミナーの開催（9月～ 全5回）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林鉄道遺産の更なる情報発信の強化 ⇒全国の森林鉄道のネットワークづくり</li> </ul>

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 28 世界に2つの「モネの庭」の誘客強化による交流人口の拡大（北川村）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北川村</li> <li>・きたがわジャルダン</li> </ul>	<p>[取組状況] (誘客対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーデニング教室（4月）、自然体験教室（7月）、バードカービング教室（9月）</li> <li>・しろくま楽団コンサート（4月）、夜の音楽祭（8月）</li> <li>・トワイライトパーティー（7月）</li> <li>・リョーマの休日エリアキャンペーン企画（9月～11月） (経営改善対策～経営コンサルタントに委託～)</li> <li>・経営企画室の設置、チケット売り場の統合、レストランの改革等 (広報活動の展開)</li> <li>・メディア、高知空港に広告看板設置、観光キャラバンでのPR</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園者増に向けた誘客対策 ⇒企画・イベントのバージョンアップと情報発信の更なる強化</li> <li>・営業体制の強化 ⇒北川村観光協会、中芸観光協議会と連携した多様な営業活動</li> </ul>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況（結果、成果等を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化（室戸市、東洋町）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸市木炭振興会</li> <li>・土佐備長炭生産組合</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産事業体と生産体制（原木、生産、販売、雇用、研修生受け入れ等）について協議を実施（5月～12回実施）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原木の共同購入や共同出荷体制の構築（室戸市） ⇒関係者での協議の場の設定</li> <li>・研修生の独立に向けた支援 ⇒独立に必要な炭焼窯の整備経費に対する支援策の検討</li> </ul>
<p>■No. 20 イルカのふれあい体験による交流人口の拡大（室戸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 室戸ドルフィンプロジェクト</li> <li>・室戸市</li> </ul>	<p>[取組状況] (営業やPR活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行雑誌（るるぶ、じゃらん）等へ掲載 (ドルフィンセンターの機能充実)</li> <li>・整備内容：センター施設及び陸上プールの整備</li> <li>・観光補助金の交付決定（8月）を経て、現在整備中</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる情報発信や施設整備による来場者増 ⇒とろむエリア全体の利活用策の検討</li> </ul>



取組	取組状況（結果、成果等を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 24 中芸地区における広域観光の推進(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中芸広域連合</li> <li>・中芸観光協議会</li> <li>・中芸商工会</li> <li>・観光関連事業者等</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中芸観光協議会の設立（4/1 事務局職員2名雇用）</li> <li>・ホームページの開設（9月）</li> <li>・中芸観光ビジョン策定（10月）</li> <li>・モニターツアーの開催（11月）</li> <li>・中芸スペシャルキャンペーン「ほげな祭」の開催 ※H25.1.26～27 中央公園</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、事業者、行政が協働する観光振興の展開 ⇒スペシャルキャンペーンの開催による協働意識の醸成</li> </ul>
<p>■No. 27 安田中山地区の活性化プロジェクト（安田町）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安田町</li> <li>・中山を元気にする会</li> <li>・安田川漁協</li> <li>・自然薯生産組合</li> <li>・味工房じねん</li> <li>・中山合同女性部</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の取り組みについて安田町と県で協議を実施（5月）</li> <li>・地域団体役員等に県の中山間対策の説明を実施（5月）</li> <li>・協議の場づくりに向けて各地区の代表者に説明を実施（6月）</li> <li>・地区の役員方との協議（7月～）</li> <li>・集落活動センター先進地視察（9月）</li> <li>・中山地区における集落活動センターの具体化の検討（10月～）</li> <li>・検討結果のまとめと地区住民の意向確認（11月）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落活動センターの運営主体、外部人材の活用 ⇒集落活動センターの立上げ準備（4/1 予定） ⇒地域おこし協力隊（1名）の募集</li> </ul>

## 2 平成24年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 12 加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上（安芸市）	・民間事業者がシラス加工業に参入し、安芸産シラスのブランド化と漁業者の所得の向上を図るため、シラス加工施設を整備する。	150,597（50,000）
■No. 2 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村）	・土佐あき農業協同組合が国内外の様々なニーズに合わせたユズ果汁の加工を行い、新たな販路や契約の拡大を図るため、ゆず果汁加工設備（ろ過、殺菌、充填）を導入する。	152,649（18,666）
■No. 2 ユズを中心とした中山間振興（北川村）	・日本初となるフランスへの柚子青果の輸出により、高知県産柚子のPR・販路を拡大する。	1,462（703）
■No. 23 海の駅「東洋町」を活用した交流人口の拡大（東洋町）	・火災により焼失した「海の駅」東洋町の再建に向けた施設建設計画を策定する。	1,429（714）

## 3 県民参画に向けた取組

○第2期産業振興計画の周知

- ・安芸ロータリークラブでの講演

○土佐の産業おこし参加プラン募集の案内

- ・中芸地区商工会総会での説明
- ・安芸商工会議所での説明
- ・町村広報紙への掲載に向けた調整

（掲載：室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、北川村、芸西村）

○産業振興計画シンポジウムへの参加案内

- ・地域アクションプラン事業者への案内（四国部品、大野倶楽部、安芸水産、JA土佐あき等）
- ・地域団体への案内（JA土佐あき、JA馬路、安芸商工会議所、中芸地区商工会等）

○商人塾受講への働きかけ

- ・安芸水産：玉沖クラス
- ・JA土佐あき女性部：臼井クラス

## 4 相談案件

- ・安芸地域での博覧会の開催について（相談者：安芸広域市町村圏事務組合）No. 18 参照